

健康寿命延伸のための「社会健康医学」推進委員会(第3回) 会議録

日 時	平成 31 年 1 月 23 日 (水) 午後 3 時 00 分から午後 4 時 35 分まで
場 所	グランディエールブケトーカイ 4 階「ワルツ」
出席者 職・氏名	出席委員：10 名（敬称略） 本庶佑、鬼頭宏、佐古伊康、田中一成、徳永宏司、中山健夫、 松田文彦、宮地良樹、望月律子、山本敏博 欠席委員：3 名（敬称略） 鶴田憲一、宮田裕章、山本清二 事務局 副知事 吉林章仁 県参与 山口重則 健康福祉部長 池田和久 健康福祉部部長代理 藤原学 健康福祉部理事 鈴木宙志 健康福祉部管理局長 前島稔生 健康福祉部理事 土屋厚子 ほか健康福祉部職員
議 題	1 社会健康医学研究の状況について 2 大学院大学の設置に係る基本構想（案）について 3 「大学院大学の設置に係る基本構想（案）」に対する意見書（案） について
配布資料	議事次第 資料 1 健康寿命延伸のための「社会健康医学」推進委員会 委員名簿 資料 2 健康寿命延伸のための「社会健康医学」推進委員会の進め方 資料 3 社会健康医学研究の推進 資料 4 大学院大学の設置に係る基本構想（案）概要版 資料 5 大学院大学の設置に係る基本構想（案） 資料 6 「大学院大学の設置に係る基本構想（案）」に対する意見書（案）  参考資料 社会健康医学関連新聞記事

1 審議事項

- (1) 社会健康医学研究の状況について
- (2) 大学院大学の設置に係る基本構想（案）について
- (3) 「大学院大学の設置に係る基本構想（案）」に対する意見書（案）  
について

2 審議内容

山口参与から、資料 3 により「社会健康医学研究の推進」について、池田健康福祉部長から、資料 4、5 により「大学院大学の設置に係る基本構想（案）」について、資料 6 により「「大学院大学の設置に係る基本構想（案）」に対する意見書（案）」について説明した後、各委員による議論を行った。

(1) 社会健康医学研究の状況について

- ・ モデル市町で研究成果を上げるという良い事例を作ることが、県全体

への波及効果につながる。

- ・ 地域住民が研究に主体的に参加することで、研究も進み、住民自身の健康意識も高まる。
- ・ 研究成果を効果的に還元するためには、住民と行政との接点を考えることが重要。

(2) 大学院大学の設置に係る基本構想（案）について

- ・ 大学院大学が魅力となり、全国から優秀な人材が静岡に来て、やがて静岡に定着してくれるマグネットのような役割を果たすと、将来的にもっと良い効果が出てくると期待される。
- ・ 地域をフィールドとした社会健康医学研究を実施することで、地域コミュニティの再生につながることも期待される。
- ・ 社会健康医学の研究成果を効果的に情報発信することができる人材の育成も必要。

(3) 「大学院大学の設置に係る基本構想（案）」に対する意見書について

- ・ 大学の設置認可を申請する際には、財政的な基盤を担保することが必要。県が財政的な裏付けを保証してくれることを期待している。